資料3

令和7年度こども読書活動に関するアンケート調査結果の概要

本調査は茨木市における、こども読書活動の実態を把握し、読書活動を推進するうえでの基礎資料とするため、平成 26 年度より定期的に実施しているものです。

1 アンケート調査の目的および概要

（1） 調査の目的

こどもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を豊かなものにするなど生きる力を育むために大切なものです。

本市では平成 26 年度に 1 回目のアンケート調査を行い、2 回目は平成 29 年度、3 回目は令和元年度、4 回目は令和4年度、今回が5回目となります。今回のアンケート調査は、令和7年 3 月に策定された「第 3 次こども読書活動推進計画　改定版」以降のこどもの読書活動の実態を調査・分析し、更に今後の読書活動推進の取組に活かすために実施しました。

（2） 調査の概要

●調査対象　本調査は、市立小学校の2年生・5年生・市立中学校2年生、 また保育所・保育園・認定こども園・幼稚園に在籍する4歳児の保護者を対象として実施しているものです。

<各年度調査回答数>　（単位：人）

	学年	平成26年度	平成29年度	令和元年度	令和4年度	令和7年度
小学生	2年生	1,426	1,210	1,390	2,282	2,140
	5年生	1,436	1,255	1,363	2,433	2,255
中学生	2年生	1,382	1,064	1,289	1,984	2,014
4歳児保護者	認定こども園				465	472
	保育所(園)	139	107	123	147	158
	幼稚園	499	332	331	257	165

●調査時期　平成26年8月、平成29年7月、令和元年7月、令和4年10月、
令和7年9月～10 月

（3） アンケート項目

●小中学生

Q1 学校名の選択

Q2 あなたは本（紙の本、スマホやタブレットなどで読む本）を読むのが好きですか。

①好き ②まあまあ好き →Q3へ

③あまり好きではない ④嫌い →Q4 へ

Q3 あなたが本を好きになったきっかけは、何ですか。（複数選択）

①図書館によく行っていたから ②身近に本があったから

③家族が本が好きだったから ④友達に勧められたから

⑤おもしろい本や好きな本、作者と出会ったから

⑥小さいころに本を読んでもらっていたから ⑦文章を読むのが好き

⑧ひまつぶしになるから ⑨気が付いたら本が好きだった ⑩その他

Q4 「あまり好きではない」「嫌い」なのは、なぜですか。（複数選択）

①文字を読むのが嫌い ②つまらない ③面倒くさい ④忙しい

⑤読みたい本がわからない ⑥他に好きなことがある ⑦その他

Q5 小さいころに、本を読んでもらったことがありますか。

①よく読んでもらった ②ときどき読んでもらった

③ほとんど読んでもらわなかった

Q6 あなたは、1週間のうち何日本を読みますか。朝読・図書の時間も含みます。小説以外の科学の本なども入ります。教科書はのぞきます。

①0日 ②1日～2日 ③3日～4日 ④5日～6日 ⑤毎日

Q7 この1か月の間に何冊本を読みましたか。朝読・図書の時間で読んだ本や、読みかけの本も1冊に数えます。

①0冊 →Q8へ

②1冊～3冊 ③4冊～6冊 ④7冊～10 冊 ⑤11 冊以上 →Q9へ

Q8 「0冊」を選んだ理由を教えてください。（複数選択）

①本が好きではないから ②勉強が忙しいから

③テレビや DVD、動画配信サイト、YouTube を見るから

④インターネット（メール、LINE など）を使ったり、ゲームをしたりするから

⑤友達と遊ぶから ⑥読みたい本がないから ⑦その他

Q9　あなたは、読みたい本や欲しい本がある時、どうしますか。（複数選択）

①本屋等で買う　②学校の図書室で借りる　③友達から借りる

④市の図書館や分室で借りる　⑤家にある本を読む　⑥インターネットで買う

⑦その他

Q10　あなたは、読みたい本をどのようにして見つけますか。（複数選択）

①先生に聞く（学校図書室の先生も含みます）　②市の図書館の人に聞く

③家の人に聞く　④友達に聞く　⑤インターネットで調べる

⑥本屋や図書館で並んでいる本から選ぶ　⑦その他

Q11　あなたは、知りたいことや、わからないことがあった時、どのようにして調べますか。（複数選択）

①インターネットで調べる　②学校の図書室で調べる　③市の図書館で調べる

④家の本で調べる　⑤先生に聞く　⑥家の人に聞く　⑦友達に聞く　⑧その他

Q12　あなたは、休み時間や放課後に、学校図書室に行きますか（図書の時間はのぞきます）。

①よく行く　②たまに行く　③ほとんど行かない　→Q14 へ

④行かない　→Q13 へ

Q13「行かない」を選んだ理由について、あてはまるものをすべて選んでください。（複数選択）

①本を読みたくない　②学校図書室に読みたい本がない　③他の遊びをしたい

④習い事や塾、部活や委員会がある　⑤その他

Q14　あなたは、市の図書館へ行きますか。

①よく行く　②たまに行く　③ほとんど行かない　→Q14 へ

④行かない　→Q15 へ

Q15「行かない」を選んだ理由を教えてください。（複数選択）

①本を読みたくない　②図書館が遠い　③本の借り方がわからない

④家に本がある　⑤学校の図書室で借りる　⑥友達に借りる　⑦時間がない

⑧その他

Q16　パソコンやスマホ、タブレットで読書をしたりマンガを読んだことがありますか。

①よく読む　②ときどき読む　→Q17 へ

③読まない　→終了

Q17　パソコンやスマホ、タブレットで読む時と、紙の本を読む時のどちらが多いですか。

①デジタルの本（パソコンやスマホ、タブレットで読む）の方が多く読む

②紙の本の方が多く読む　③両方同じくらい読む

Q18　パソコンやスマホ、タブレットで何を読みますか。（複数回答）

①絵本　②物語　③マンガ　④問題集

※小学2年生のみ　⑤そのほか　があります。

●4歳児の保護者

Q1～Q4は保育所（園）、幼稚園、認定こども園名の選択

Q5　お子さんが本を読むことや本に興味をもつことは、こどもの成長に必要なことだと思われますか。

①必要である　②どちらともいえない　③必要ではない

Q6　あなたは本（紙の本、電子書籍）を読むのが好きですか。

①好き　②まあまあ好き　③あまり好きではない　④嫌い

Q7　あなたはこどもの頃に、本を読んでもらったことがありますか。

①よく読んでもらった　②時々読んでもらった　③ほとんど読んでもらわなかった

Q8　お子さんに1週間のうち何日、本を読んであげますか。

①0日　②1日～2日　③3日～4日　④5日～6日　⑤毎日

Q9　お子さんに最近1か月で何冊本を読んであげましたか。（読みかけの本も1冊に数えます。同じ本を複数回読んだ場合も、読んだ冊数として数えてください。）

①0冊　→Q10 へ

②1冊～3冊　③4冊～6冊　④7冊～10冊　⑤11 冊以上　→Q11 へ

Q10「0冊」を選んだ方は、その理由を教えてください。（複数選択）

①本が好きではないから　②仕事が忙しいから　③家事が忙しいから

④テレビや DVD、YouTube を見たいから

⑤インターネット（メール、LINE など）を使ったり、ゲームをしたりするから

⑥読んであげたい本がないから　⑦その他

Q11　お子さんは本を読んでもらうことが好きですか。

①好き　②まあまあ好き　③あまり好きではない　④嫌い

Q12　お子さんの本をどのようにして用意しますか。（複数選択）

①本屋で買う　②インターネットで買う　③保育所・幼稚園で借りる

④友達から借りる　⑤市の図書館で借りる　⑥家にある本を読む　⑦その他

Q13　お子さんの本をどのようにして選びますか。(複数選択)

①こどもが読んでほしいと言った本を選ぶ　②こどもの喜びそうな本を選ぶ

③インターネットや SNS でおすすめの本を選ぶ

④友達(他の保護者)にすすめられた本を選ぶ

⑤保育所・幼稚園の先生に相談して選ぶ

⑥図書館等のブックリストを参考にして選ぶ　⑦図書館司書に相談して選ぶ

⑧その他

Q14　お子さんと一緒に市立図書館へ行きますか。

①よく行く　②たまに行く　③ほとんど行かない　→Q16 へ

④行かない　→Q15 へ

Q15「行かない」を選んだ理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択)

①本を読みたくない　②図書館が遠い　③本の借り方がわからない

④家に本がある　⑤保育所(園)・幼稚園・認定こども園で借りる　⑥友達に借りる

⑦時間がない　⑧その他

Q16　こども向け電子書籍に興味はありますか。(デジタル絵本など)

①興味がある　②興味はない　③現在使用している

●今回からの変更点

（全対象）

① すべての質問を必須にしました。

（小学2年生・5年生、中学2年生）

① Q2において本を読むのが「好き」「まあまあ好き」という回答をした場合、Q3「あなたが本を好きになったきっかけは何ですか」の質問が追加されます。
② Q8の回答のうち「テレビや DVD、ユーチューブを見るから」という文言を「テレビや DVD、動画配信サイト、ユーチューブを見るから」に変更しました。
③ Q9について「あなたは、読みたい本をどのようにして手に入れますか」という質問文を「あなたは、ほしい本がある時、どうしますか。」という表現に変更しました。
④ Q10 について「あなたは、読みたい本をどのようにして探しますか」という質問文を「どのようにして見つけますか」という表現に変更しました。また回答に「本屋や図書館で並んでいる本から選ぶ」を追加しました。
⑤ Q13 において学校図書室に「行かない」と回答した場合、その理由を問う質問の回答の「読みたい本がない」に「学校図書室に」を追加しました。
⑥ Q14 において市の図書館へ「行かない」と回答した場合、その理由を問う質問の回答に「学校の図書室で借りる」を追加しました。
⑦ Q16 について「パソコンやスマホ、タブレットで、ものがたりやマンガなどを読んだことがありますか」という質問を「パソコンやスマホ、タブレットで、読書をしたりマンガを読んだことがありますか」という表現に変更しました。
⑧ Q18 について「パソコンやスマホ、タブレットで何を読みますか」という質問を追加しました。

（4歳児の保護者）

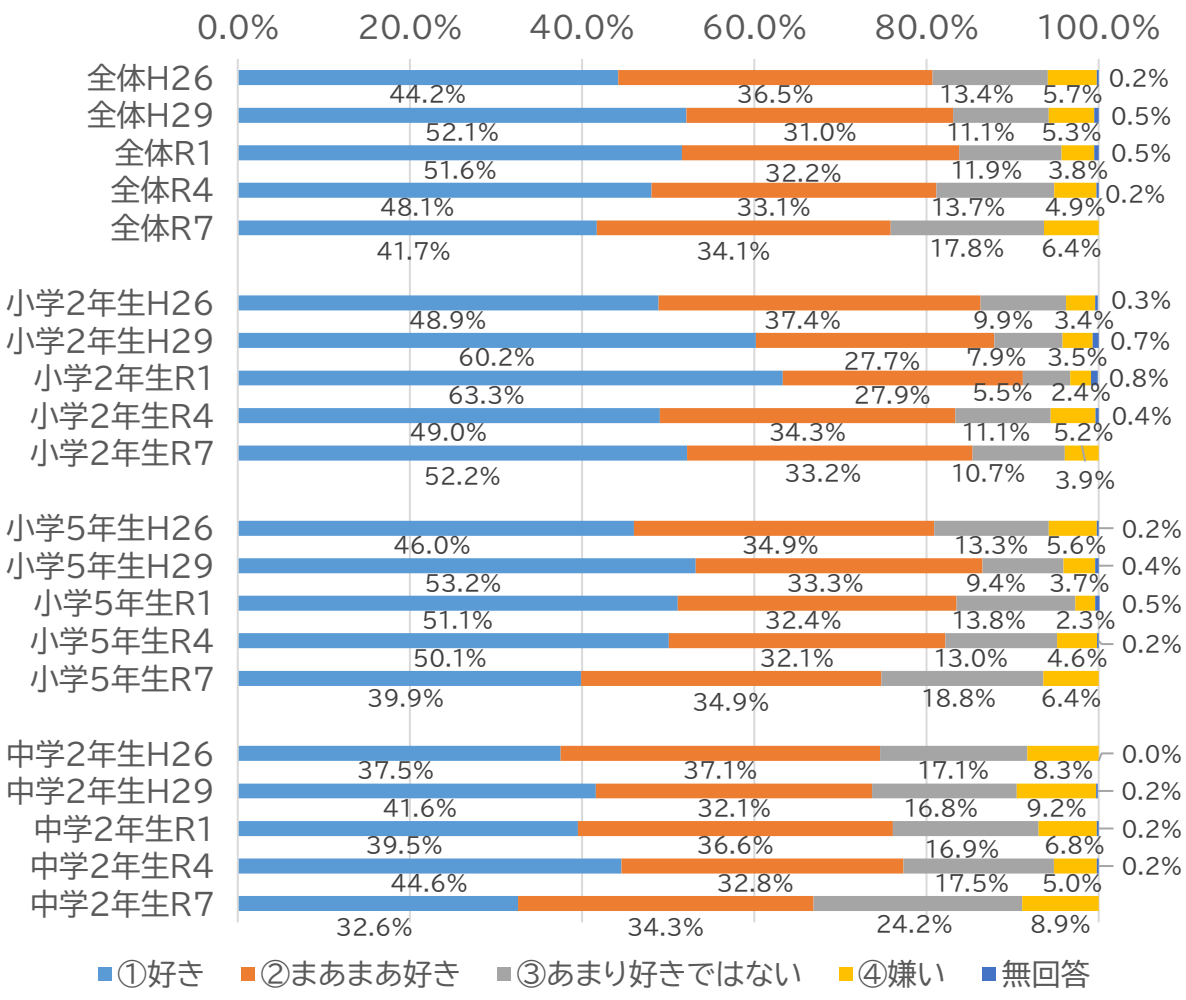
① Q13 について「お子さんの本をどのようにして選びますか」という質問の回答に「インターネットや SNS でおすすめの本を選ぶ」を追加しました。
② Q14 において市立図書館へ「行かない」と回答した場合、その理由を問う質問の回答に「保育所（園）・幼稚園・認定こども園で借りる」を追加しました。
③ Q16 について「こども向け電子書籍に興味はありますか」という質問を追加しました。

2　読書活動の現状と課題

(1)小学2年生・5年生、中学2年生の読書活動

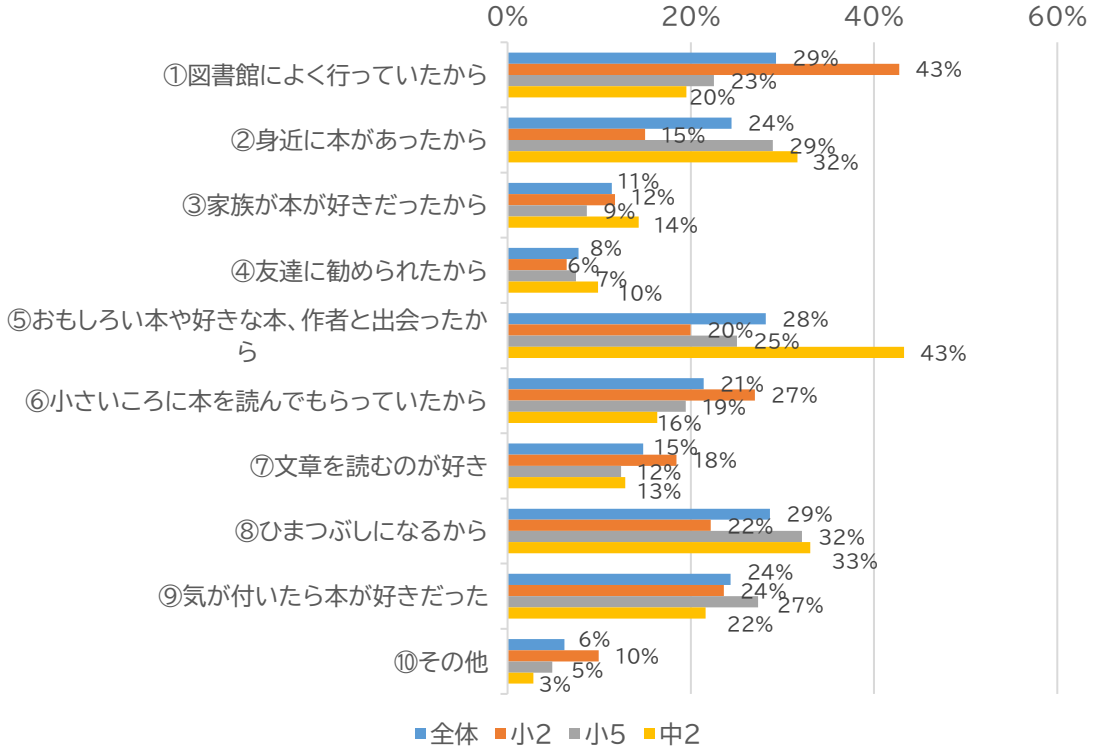
本市の小学生2年生において、「本を読むのが好きですか」という質問への「好き」「まあまあ好き」という回答は平成 26 年の第1回調査時から継続して8割以上を保っています。しかし小学5年生においては 74.8%、中学2年生においては 66.9%と、令和4年の第4回調査時よりそれぞれ1割程度減少しました。(図1参照)

【図１】Q2　あなたは本(紙の本、スマホやタブレットなどでよむ本)を読むのが好きですか。



今回の調査から追加した項目で、本を読むのが「好き」「まあまあ好き」と回答した小中学生のうち、小学2年生の最も多い理由は「図書館によく行っていたから」次いで「小さいころに本を読んでもらっていたから」、小学5年生では「ひまつぶしになるから」「身近に本があったから」、中学2年生では、「おもしろい本や好きな本、作者と出会ったから」、「ひまつぶしになるから」でした。このことから、小さいころからの読書習慣や、本が身近にある環境が読書につながることがうかがえます。また「おもしろい本や好きな本、作者と出会ったから」の回答も多いことから、小中学生の好みにあった本との出会いの場を作ることが重要だと考えられます。(図2参照)

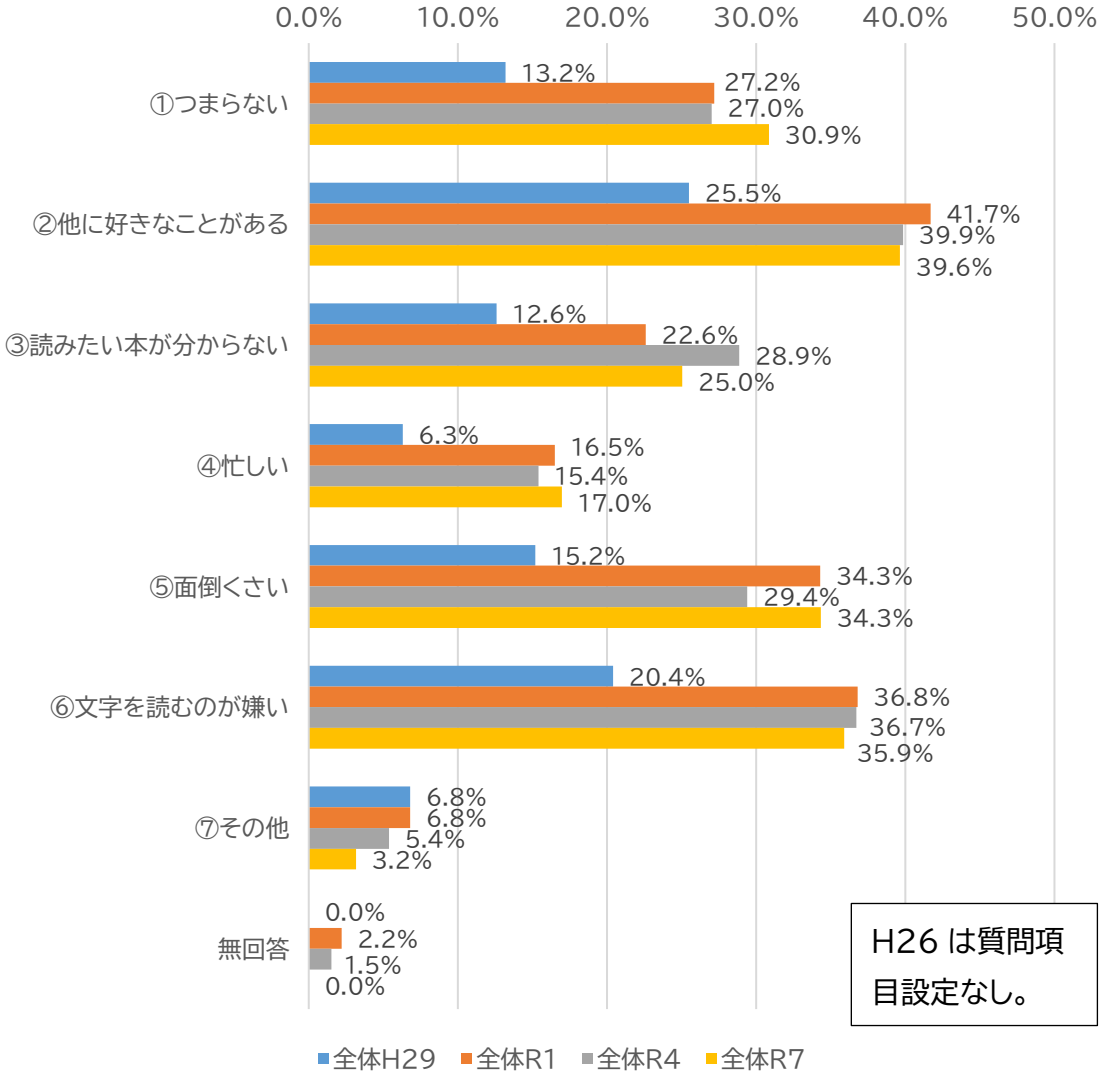
【図２】 Q3 あなたが本を好きになったきっかけは、何ですか。



※令和7年度以前は、質問項目設定なし。

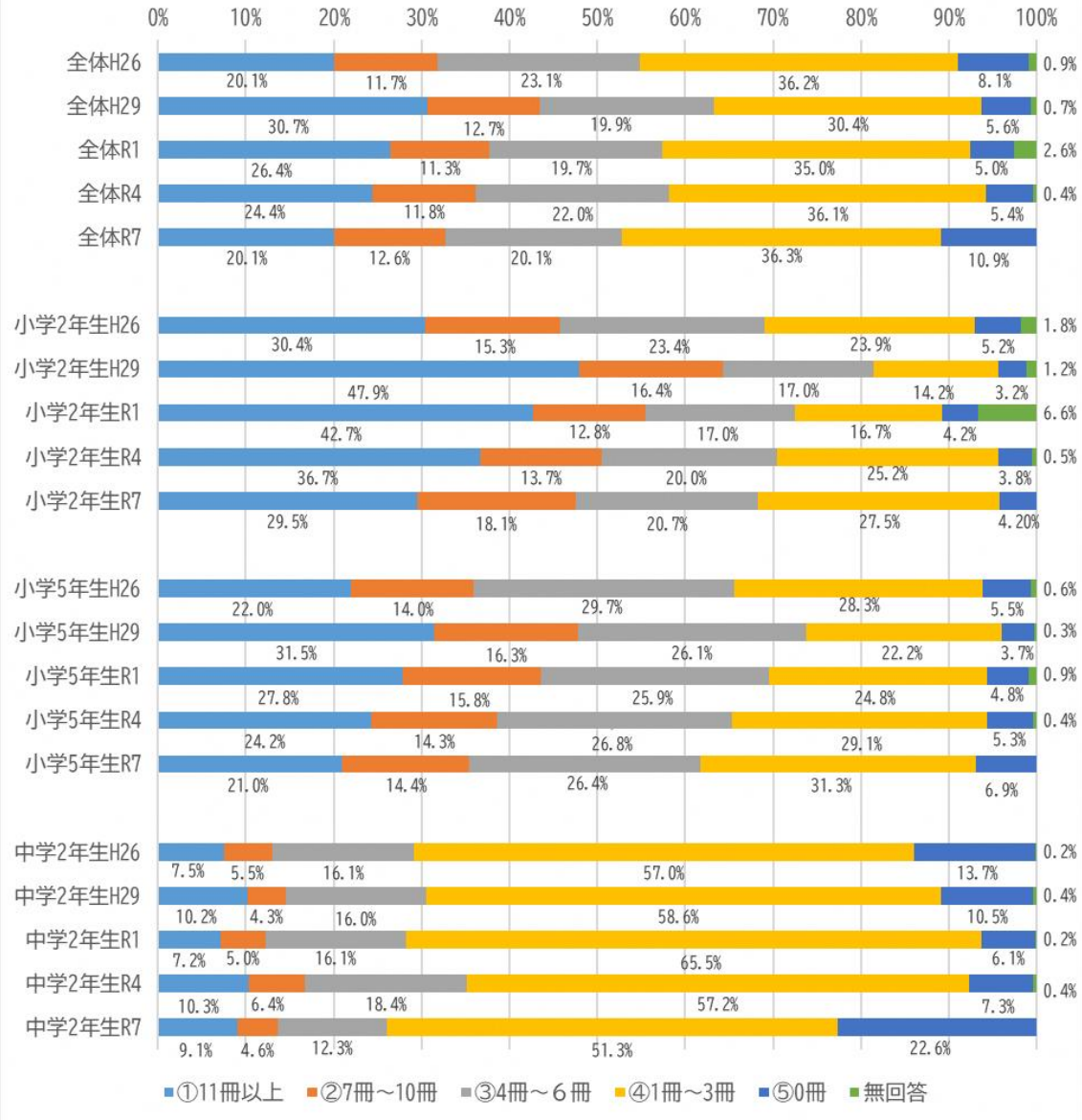
Q2で、本を読むことが「あまり好きではない」「嫌い」と答えた児童・生徒の割合は、全体で、令和7年度は 24.2%となっており、前回調査の 18.6%と比べて増加しています。最も多い理由は「他に好きなことがある」で次いで「文字を読むのが嫌い」「面倒くさい」「つまらない」となっています。前回調査からもあまり変わっておらず、スマホやタブレットで映像が身近になっている現代において、文字を読むことに苦手意識や煩わしさを感じている小中学生が多いのではと推測されます。(図3参照)

【図３】 Q4 「あまり好きではない」「嫌い」なのは、なぜですか。



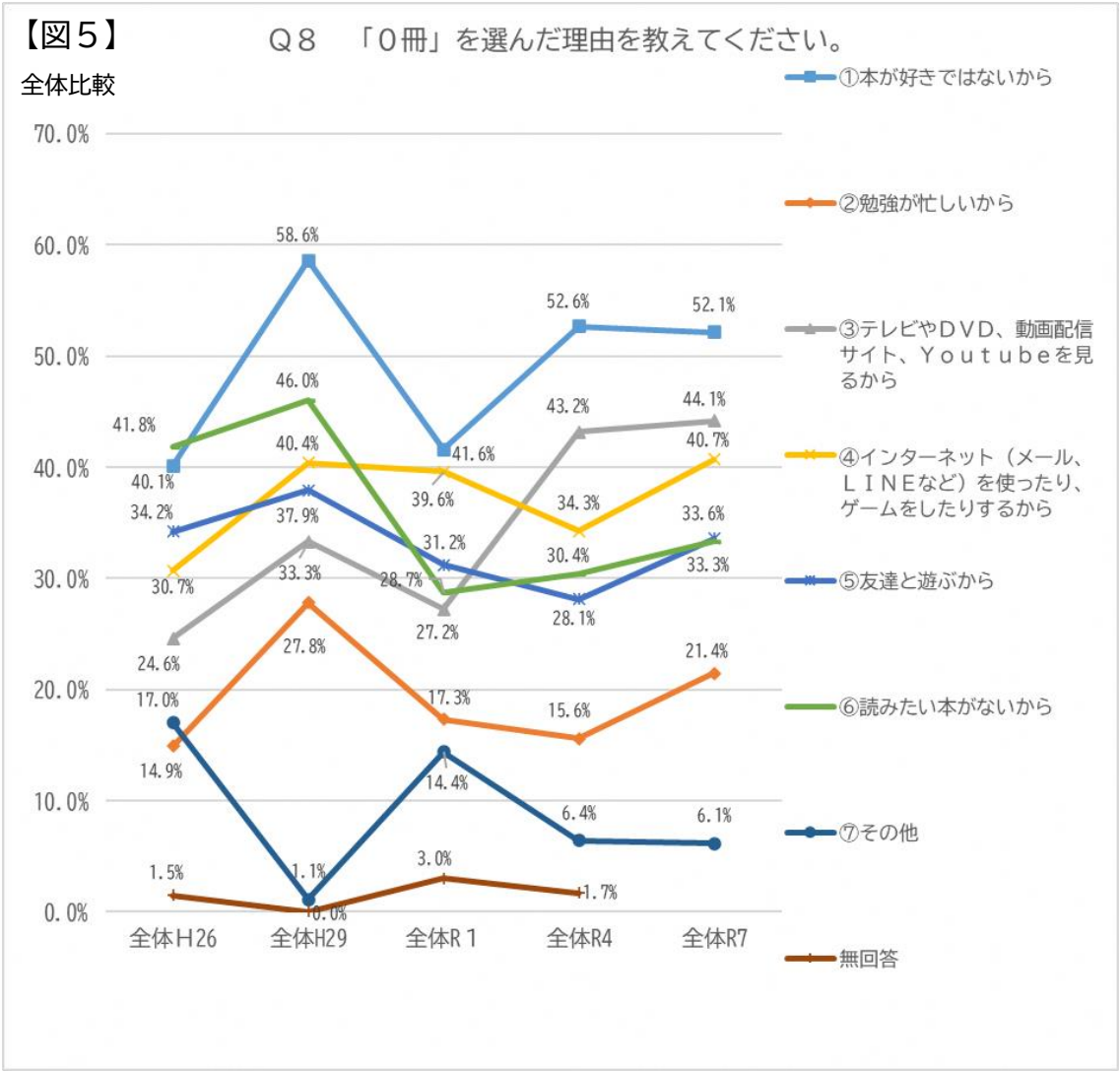
Q7「この1か月の間に何冊本を読みましたか」という質問に対して「0冊」の回答は、全体で 10.9%となっており、前回までの調査から約2倍に増加しています。また、中学生においては、前回調査時の 7.3%でしたが、今回調査では 22.6%と大幅に増加しました。(図4参照)

【図４】



Q7で「0冊」を選んだ理由については、平成 29 年以降継続して「本が好きではないから」が最も多く、次いで「テレビやDVD、動画配信サイト、Youtubeを見るから」、「インターネット（メール、LINEなど）を使ったり、ゲームをしたりするから」も増加しています。（図5参照）

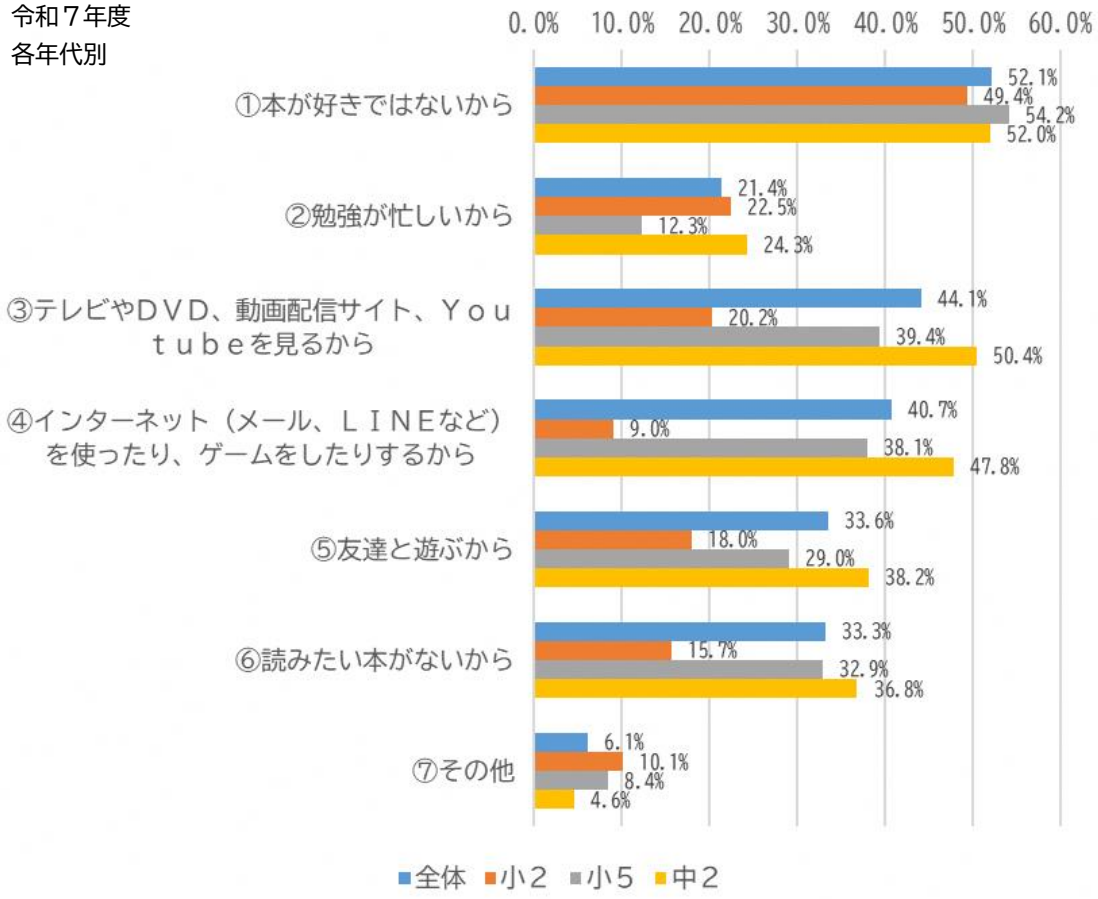
【図５】



学年別でみても、どの年代も「本が好きではないから」という回答が一番多いです。小学2年生では次いで「勉強が忙しいから」が多く、小学5年生と中学2年生では「テレビやDVD、動画配信サイト、Youtubeを見るから」が二番目に多くなっています。（図６参照）

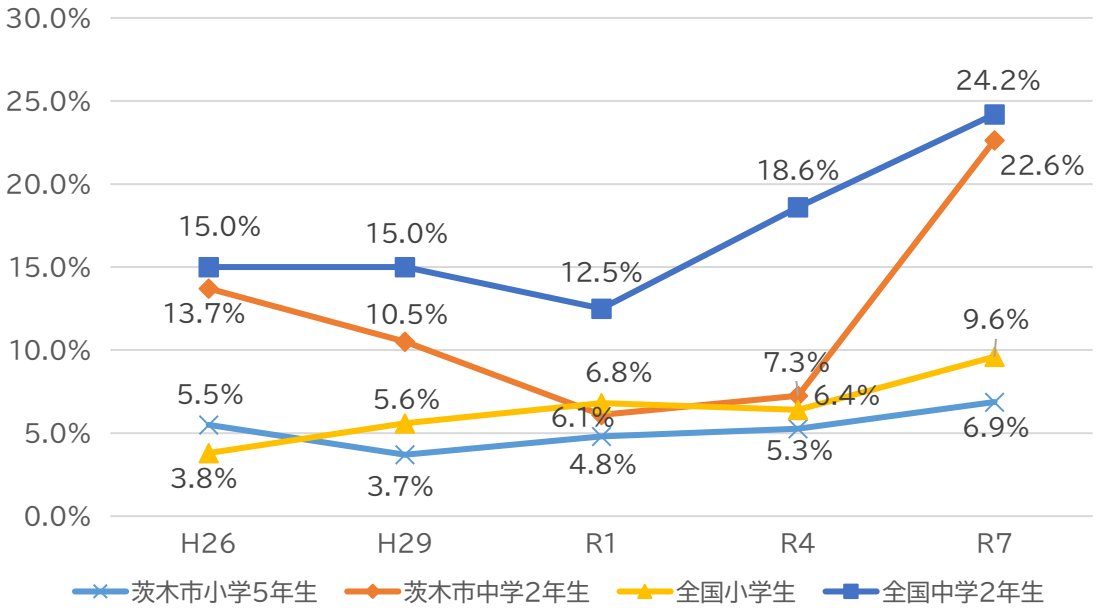
【図６】　Ｑ８　「０冊」を選んだ理由を教えてください。

令和７年度
各年代別



1か月に1冊も本を読まないと回答した児童・生徒の割合「不読率」については、茨木市の数値は平成 26 年度第1回の小学5年生を除いて全国を下回る状況が続いています。しかしながら、令和4年度と比較して、中学生の不読率が大幅に上昇しています。この原因として中学校では給食の時間確保のため、朝の一斉読書を廃止した学校もあることが考えられます。一斉読書の廃止に伴い、図書室の利用も減ったとの声もあります。一斉読書の代わりとなる読書習慣をどのように実現するか検討していく必要があります。(図7参照)

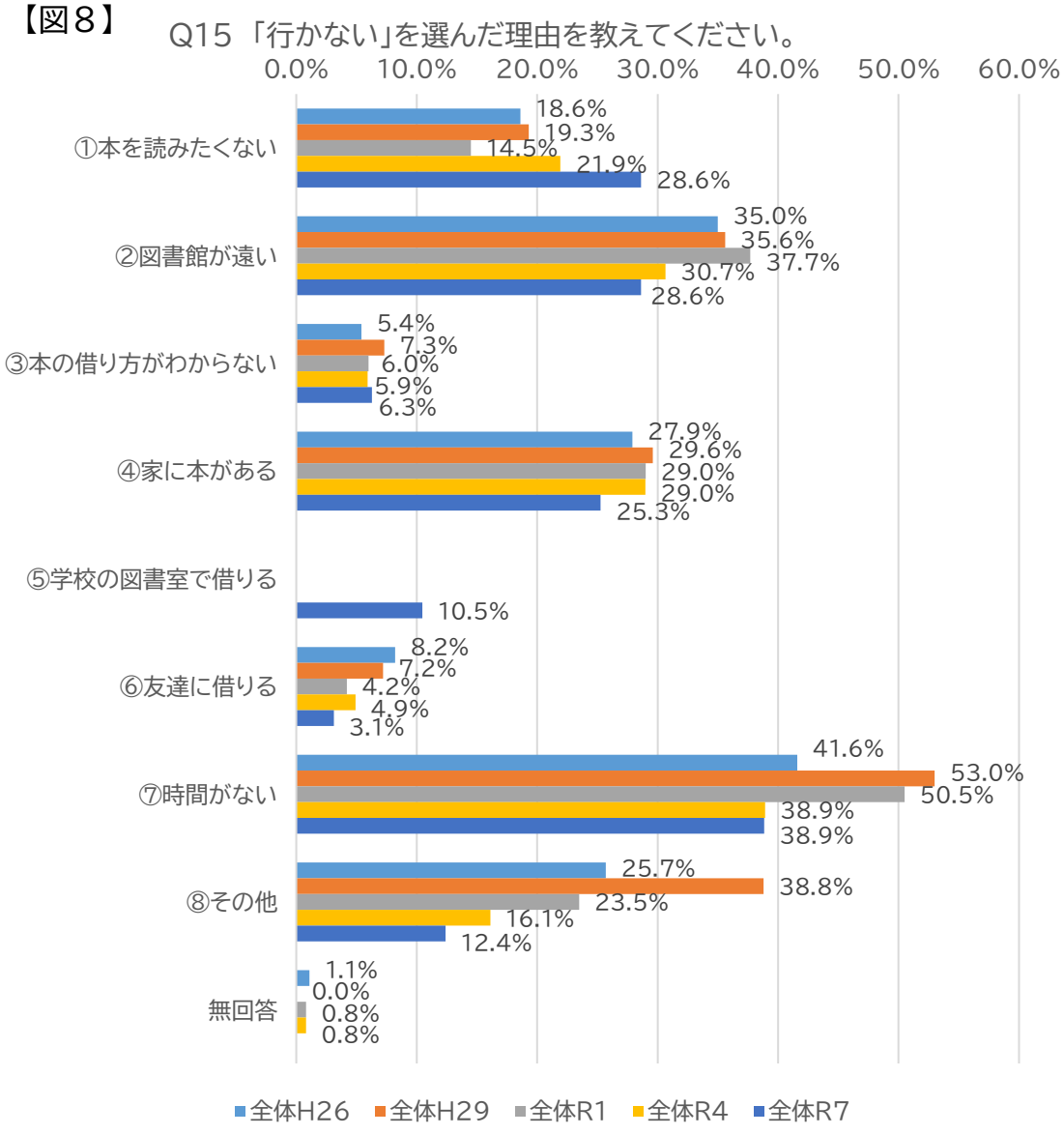
【図７】



「市立図書館へ行きますか」という問いでは「よく行く」、「たまに行く」の割合は前回調査から大きな変動はありませんでした。「行かない」「ほとんど行かない」は、中学生が特に増加しており、図書館の利用促進に努める必要があります。

市立図書館へ「行かない」理由として最も多いのは、「時間がない」で次いで「本を読みたくない」、「図書館が遠い」、「家に本がある」でした。「本を読みたくない」小中学生の割合は前回調査時より増加しています。(図8参照)

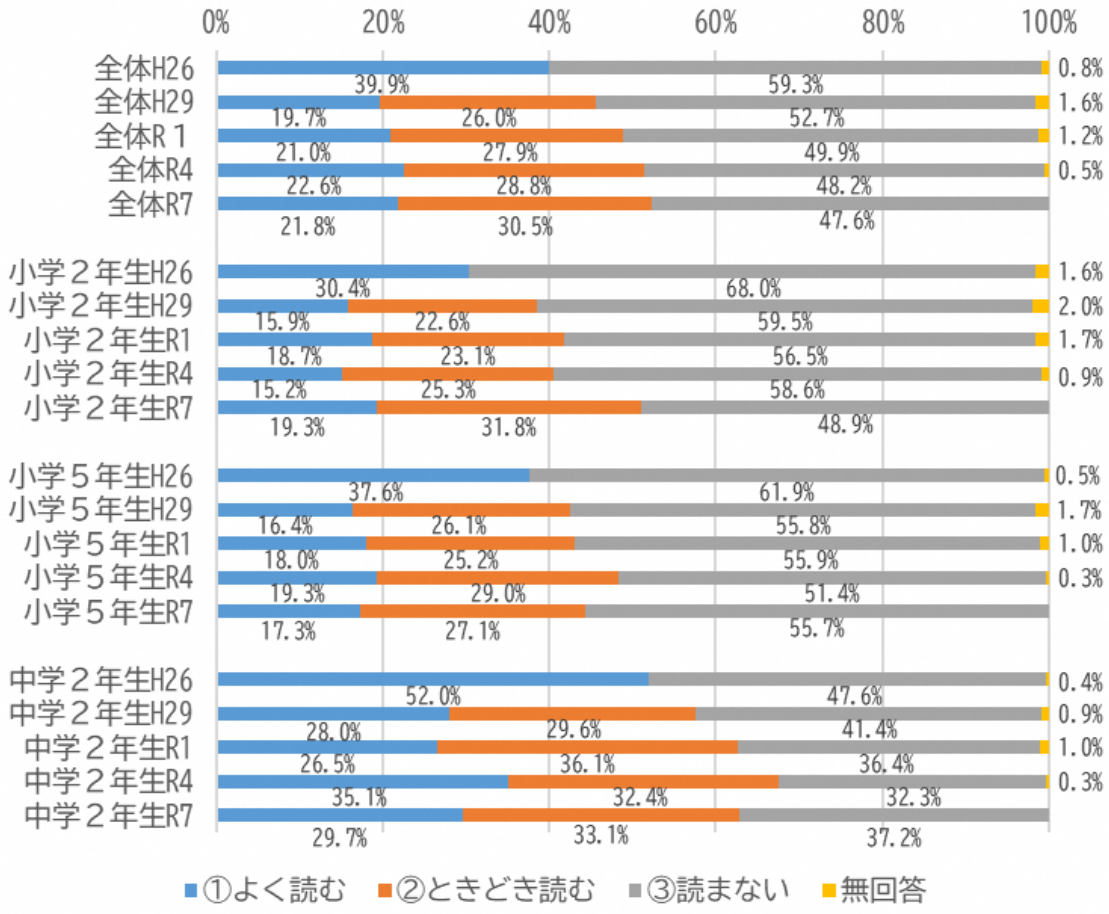
【図８】



電子書籍の利用について、「パソコンやスマホ、タブレットで読書をしたりマンガを読んだことがありますか。」という問いでは、小学5年生、中学生において「読まない」という回答が前回調査から増えています。このことより、紙の本も電子書籍も含めた活字を読まないのではと考えられます。

対して小学2年生では「よく読む」「ときどき読む」の回答が増えており、こどもたちにとって電子書籍が身近になってきたと推測できます。電子図書館を利用することにより、図書館が遠い小中学生でも気軽に本を読むことができます。このような利点の周知に努める必要があります。(図9参照)

【図9】Q16　パソコンやスマホ、タブレットで読書をしたりマンガを読んだことがありますか。



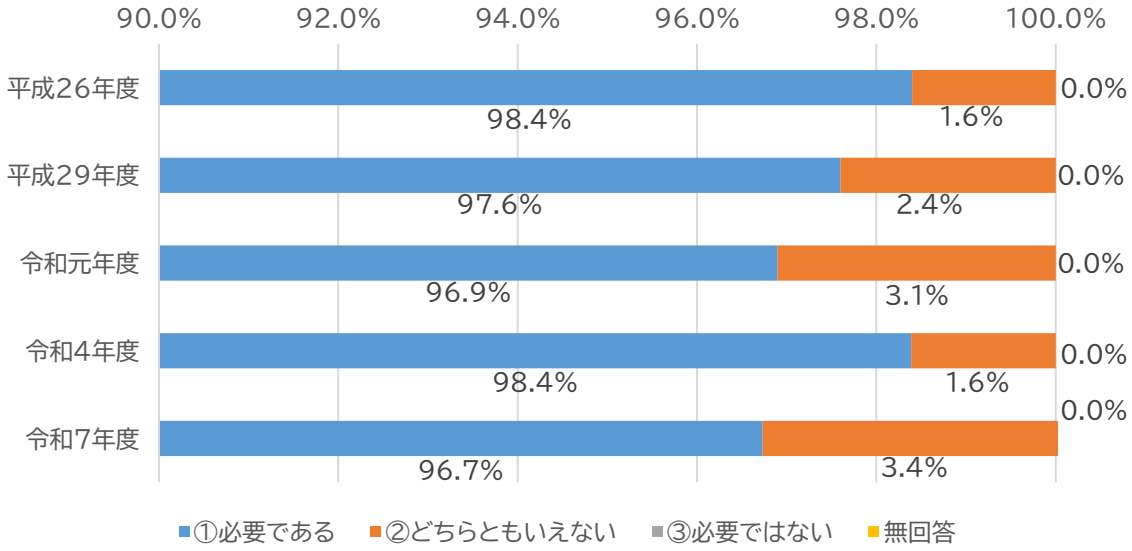
※平成 26 年度は「よく読む」と「ときどき読む」の区別なし。

パソコンやスマホ、タブレットで読書をする小中学生全体のうち、「デジタルの本の方が多く読む」という回答が 28.7%に対して、「紙の本の方が多く読む」という回答は 49.3%でした。小中学生においては、紙の本の利用が多いことがわかります。

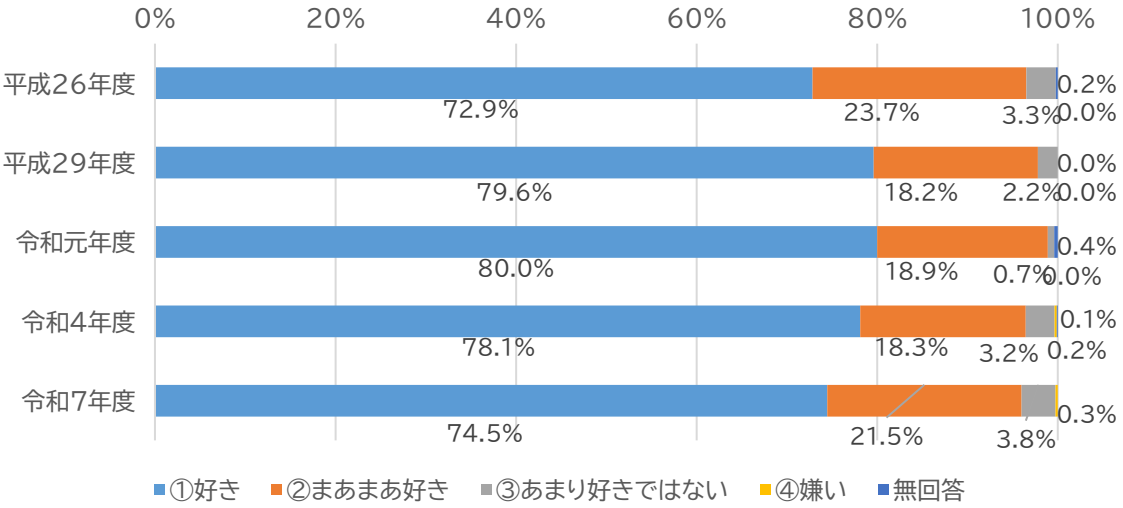
(2)4歳児の読書活動

4歳児の保護者への調査結果では、「お子さんが本を読むことや本に興味をもつことは、こどもの成長に必要なことだと思われますか。」という問いに対して、9割以上の保護者が「必要である」と回答しました。(図 10 参照)また「お子さんは本を読んでもらうことが好きですか。」という問いに対し「好き」「まあまあ好き」という回答も9割以上を占めました。これらの数値はアンケート調査を開始した、平成 26 年度からほぼ横ばいで、4歳児の保護者の読書に対する重要性が定着しているものと思われます。(図 11 参照)

【図 10】Q5　こどもが本を読むことや本に興味をもつことは、こどもの成長に必要なことだと思われますか？

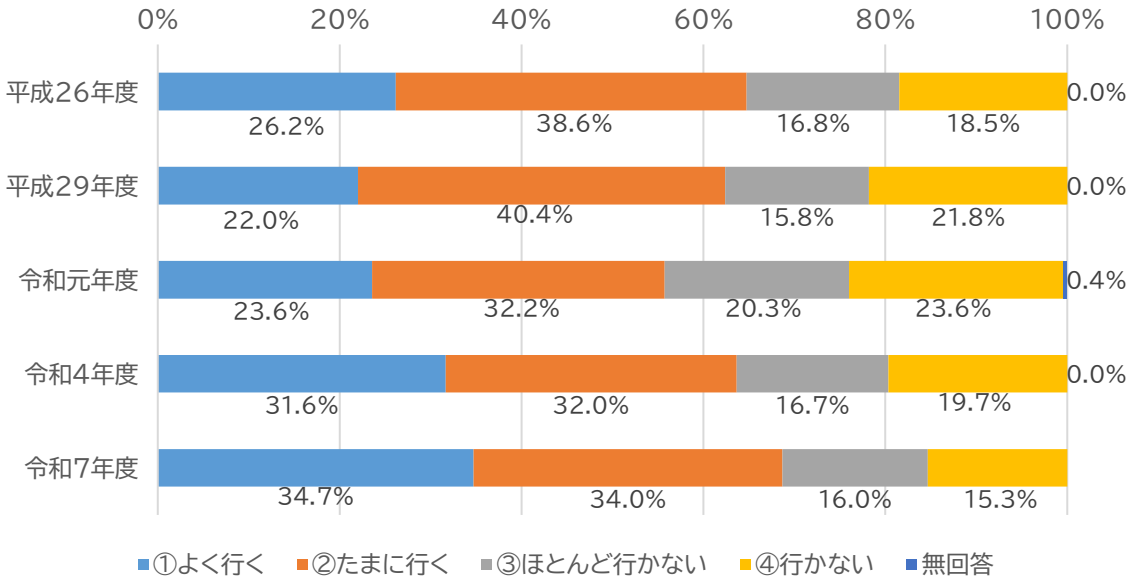


【図 11】　Q11　お子さんは本を読んでもらうことが好きですか。



また、「お子さんと一緒に市立図書館へ行きますか。」という問いでは、68.7%が「よく行く」、「たまに行く」と回答しており、前回調査と比較して 5.1%上昇しました。これは令和5年 11 月にオープンしたおにクルぶっくぱーくの影響が大きいと考えられます。(図 12 参照)

【図 12】　Q14　お子さんと一緒に市立図書館へ行きますか。



3　まとめ

令和7年 3 月に策定した「第3次茨木市こども読書活動推進計画　改定版」では、「こどもの読書機会・環境の充実と読書活動の啓発」、「関係機関の連携と人材の育成」の2つの基本方針に沿って取組を進めていくこととしています。

今回のアンケート調査から見えてきた課題は、「第3次茨木市こども読書活動推進計画改定版」での取組内容として挙げているものも多く、また、前回調査時よりも小中学生の読書離れが顕著に表れており、図書館をはじめとした関係課や関係機関からさまざまなアプローチをして読書の楽しさを伝えていく必要があると感じました。今回の調査結果を踏まえ、今後の具体的な取組に反映していきます。